

新城市民病院での地域研修を振り返って

豊橋市民病院

地域医療研修として新城市民病院で1か月間勉強する機会をいただきました。研修期間中は総合内科の先生方、看護師さん、検査の方、リハビリの方、事務の方々には大変お世話になりありがとうございました。また、診察にご理解とご協力をしてくださった患者さんにも御礼申し上げます。

研修は新城市民病院での総合内科外来と院外研修(作手診療所、助産所、訪問看護、訪問リハビリ)という2つから構成されていました。総合内科外来で感じたことは、先生方が病歴に力を入れ、丁寧に問診していると感じました。そのことでかなり疾患が絞られ、余分な検査をしなくて済むということにつながっているのだと思います。また、EBMを大切にしていると強く感じました。自分自身の診察では、その都度アドバイスをして頂けるという点が、豊橋市民病院での救急外来では経験できないことであり、とても価値のあるものでした。また、夕方のカンファレンス・指導医との振り返りでフィードバックをして頂けるので、自分に何が足りなかったのかを明確にでき次の診療へとつながっていきました。院外研修は、高齢者の方を対象としたものが多く、これぞ地域医療という感じを持つと同時に、医療スタッフと患者さんの距離がとても近く、本当に頼りにされていると感じました。都市部の急性期病院ではなかなかここまでの関係性は作れないと思います。また、現在問題となっている高齢化社会と介護の問題を目の当たりにしました。高齢者の方ができるだけ健康に生活できるように医師としてできることを考えていかなければいけないと実感しました。

新城での地域医療を通して、エビデンスに基づいた医療の大切さ、患者さんのニーズに合わせた医療の在り方、常に向上心を持って日々勉強し診療に生かしていくという大切さを学びました。わずか1か月の研修でしたが、とても充実した研修であり、今後の人生に必ず活かしていきたいと思っております。大変なお世話になりました。